



## タイ空港公社と「戦略的提携に関する覚書」を締結

2014年8月29日(金)、新関西国際空港株式会社とタイ空港公社(The Airports of Thailand Public Company Limited)は、戦略的提携に関する覚書を締結しました。

タイ空港公社は、2002年に設立され、フルサービスキャリア中心の「バンコク・スワンナプーム国際空港」やローコストキャリア中心の「バンコク・ドンムアン国際空港」等、タイ国内主要6空港を管理、運営しています。

2013年7月1日より、短期滞在を目的として訪日を希望するタイ国民の皆様への査証免除が開始され、タイからの訪日外客数は急激に増加しており、2013年の関西空港へのタイ国籍者の入国者数は2010年比1.8倍の約10万人となっています。

両社は姉妹提携という枠を超え、戦略的に提携することで、航空会社に対する共同マーケティングや、両空港の店舗情報等を紹介する共同プロモーション活動、情報交換等を積極的に行い、関西空港とタイとの間の旅客拡大を目指すとともに、航空ネットワーク強化を図り、共有する空港戦略に一層の磨きをかけ、事業価値向上をしております。

今回の提携について、代表取締役社長 安藤圭一は、次のようにコメントしております。

このたび、タイ空港公社と戦略的提携に関する覚書を締結することができ、大変嬉しく思っております。当社は、カナダのバンクーバー空港、オーストラリアの「ゴールドコースト空港」、ドイツの「ライプチヒ・ハレ空港」と提携を結んでおりますが、今回は初めての成長著しいアジアの空港会社との提携であります。

タイは年間外国人訪問者数2,650万人、世界第10位のインバウンド大国でございますが、現在、日本でも国を挙げて2020年までに年間訪日外国人数2,000万人を目指す取組みを行っており、当社と致しまして、インバウンド大国でありますタイのゲートウェイ空港を運営するタイ空港公社の経験を学ばせて頂くことは、大変意義深いことと考えております。

両社はともに大都市圏において2空港を運営し、FSC、LCC双方の需要に適ったサービスを提供しているという共通点を有しています。この点において、両社が持つノウハウや課題を積極的に共有し、ともに発展して参りたいと考えております。

今後の両社の取組みに、どうぞご期待下さい。



KIX20<sup>th</sup> ITM75<sup>th</sup>



<参考情報>

【タイ空港公社概要】

- ・ 名称 : The Airports of Thailand Public Company Limited (AOT)
- ・ 設立 : 2002年
- ・ 上場 : 2004年
- ・ 管理・運営空港 : 以下6空港

Suvarnabhumi International Airport (スワンナプーム国際空港)

Don Mueang International Airport (ドンムアン国際空港)

Phuket International Airport (プーケット国際空港)

Chiang Mai International Airport (チェンマイ国際空港)

Chiang Rai International Airport (チェンライ国際空港)

Hat Yai International Airport (ハートヤイ国際空港)



KIX20<sup>th</sup> ITM75<sup>th</sup>